

はり・きゅう学科(1年生)

専門課程(医療分野)

教育課程及び授業時数									
分野・区分		科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務	
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活	医療心理学 *1	14	2(30)	2(30)				
		情報科学概論		2(30)	2(30)				
		医療英語		4(60)	4(60)				
		保健体育		2(60)	2(60)				
		経営学概論		4(60)	4(60)				
小 計			14	14(240)	14(240)				
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	12	4(120)	4(120)				
		解剖学Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		生理学Ⅰ		4(120)	4(120)			○	
		生理学Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		人体構造学		1(30)			1(30)		
		運動学		1(30)			1(30)		
	疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	病理学	12	2(60)			2(60)	○	
		臨床医学総論Ⅰ		1(30)	1(30)			○	
		臨床医学総論Ⅱ		1(30)			1(30)	○	
		臨床医学各論Ⅰ		2(60)			2(60)		
		臨床医学各論Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		リハビリテーション医学		2(60)			2(60)	○	
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	関係法規	3	1(30)				1(30)	○
		医療概論		1(30)				1(30)	○
		社会保障制度と倫理		1(30)				1(30)	○
小 計			27	29(870)	11(330)	9(270)	9(270)		
専 門 分 野	基礎はり学 基礎きゅう学	はり・きゅう理論Ⅰ	9	1(30)	1(30)			○	
		はり・きゅう理論Ⅱ		1(30)		1(30)		○	
		東洋医学概論		4(120)	4(120)			○	
		経絡経穴概論Ⅰ		2(60)	2(60)			○	
		経絡経穴概論Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
	臨床はり学 臨床きゅう学	病態生理学	13	1(30)			1(30)	○	
		生態観察		2(60)		2(60)		○	
		東洋医学臨床論Ⅰ		4(120)		4(120)		○	
		東洋医学臨床論Ⅱ *2		4(120)		4(120)		○	
	社会はり学 社会きゅう学	東洋医学臨床論Ⅲ	2	2(60)			2(60)	○	
		はり・きゅう応用学		2(60)		2(60)			
	実 習	基礎はり実技	15	2(60)	2(60)			○	
		基礎きゅう実技		2(60)	2(60)			○	
		応用はり・きゅう実技Ⅰ		2(60)		2(60)		○	
		応用はり・きゅう実技Ⅱ		2(60)		2(60)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法)		2(60)		2(60)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅱ *3		4(120)		4(120)		○	
	臨床はり・きゅう実技Ⅲ(古典鍼灸)	2(60)			2(60)	○			
	臨 床 実 習	臨床実習	4	4(180)			4(180)	○	
	総 合 領 域	はり・きゅう総合Ⅰ	10	1(30)			1(30)		
		はり・きゅう総合Ⅱ		1(30)			1(30)	○	
はり・きゅう総合Ⅲ		1(30)				1(30)	○		
はり・きゅう総合Ⅳ		1(30)				1(30)	○		
はり・きゅう総合Ⅴ		1(30)				1(30)	○		
はり・きゅう総合Ⅵ *4		1(30)				1(30)	○		
美容鍼灸		2(60)				2(60)			
スポーツ鍼灸		2(60)				2(60)			
小 計			53	55(1710)	11(330)	25(750)	19(630)		
合 計			94	98(2820)	35(870)	35(1050)	28(900)		

*1 コミュニケーション含む *2 はり及びきゅうの適応の判断含む *3 臨床実習前試験含む *4 はり及びきゅうの歴史含む

【はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則外に定める授業科目以外の履修科目】

科目区分	授 業 科 目	規定 単位	計 画	1学年	2学年	3学年	実務
			単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	
アロマセラピー	アロマセラピー概論	—	2(30)	2(30)			○
	アロマセラピー実技						○
メディカルトレーナー	メディカルトレーナー概論	—	2(30)	2(30)			○
	メディカルトレーナー実技						○
小 計			4(60)	4(60)			

科目名: 医療心理学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 野上 真

2単位

【授業概要】 心理学における諸分野(認知心理学、学習心理学、社会心理学、臨床心理学)の基礎的知識を学習する。心理学の知識が、勉学、日常的な人間関係、仕事でいかに活かせるか理解する。

【到達目標】 教養としての心理学の基礎的な知識を確実に身に付ける。心理学の知識を実生活で積極的に活用できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	心理学の目的と研究方法	野上
2	記憶のメカニズム(1) 記憶の定着を促す要因	野上
3	記憶のメカニズム(2) 記憶の正確さに影響を及ぼす要因	野上
4	学習のメカニズム(1) 行動変容を促す要因	野上
5	学習のメカニズム(2) 学習方略の諸相	野上
6	モチベーション(1) 内発的動機づけと外発的動機づけ	野上
7	モチベーション(2) モチベーションの促進要因	野上
8	対人影響(1) 対人コミュニケーション	野上
9	対人影響(2) リーダーシップ	野上
10	対人認知(1) 対人魅力	野上
11	対人認知(2) 偏見と差別	野上
12	心の発達	野上
13	ストレスの発生メカニズムとストレスマネジメント	野上
14	心理療法の諸相	野上
15	事故防止に関わる心理的対策	野上
16	定期試験	野上

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
 復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 情報科学概論(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 森園 由香

2単位

【授業概要】 コンピュータは研究・教育やビジネスばかりではなく、家庭にも深く浸透している。コンピュータ利用に関する基礎的知識を習得して各種アプリケーションをうまく利用することを学ぶ。また、めまぐるしく流動する情報ユビキタス社会の流れに乗り遅れないようにするため、情報化社会を取り巻く文化的・科学的・工学的・経済的・社会的な課題を実例に取り挙げ講義を進める。

【到達目標】 情報科学に関する基礎的知識を習得し、各種アプリケーションをうまく利用することを学ぶ。さらに、将来における実務業務や研究活動等に情報科学の知識を用いたアプローチができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	情報学の概要 コンピュータの成り立ちと近年の情報通信技術やユビキタス社会の紹介	森園
2	Microsoft-Word 1 Microsoft-Wordの基本操作を学ぶ	森園
3	Microsoft-Word 2 Microsoft-Wordを利用した文書作成①	森園
4	Microsoft-Word 3 Microsoft-Wordを利用した文書作成②	森園
5	Microsoft-Word 4 Microsoft-Wordを利用したカンファレンス資料の作成①	森園
6	Microsoft-Word 5 Microsoft-Wordを利用したカンファレンス資料の作成②	森園
7	Microsoft-Excel 1 Microsoft-Excelの基本操作を学ぶ	森園
8	Microsoft-Excel 2 Microsoft-Excelを利用した表計算	森園
9	Microsoft-Excel 3 Microsoft-Excelを利用したデータ管理	森園
10	Microsoft-Excel 4 Microsoft-Excelを利用した統計分析	森園
11	Microsoft-Excel 5 Microsoft-Excelを利用したグラフ作成	森園
12	まとめ WordとExcelのまとめ	森園
13	Microsoft-Power point 1 プレゼンテーション資料の作成①	森園
14	Microsoft-Power point 2 プレゼンテーション資料の作成②	森園
15	Microsoft-Power point 3 プレゼンテーションの実践	森園
16	定期試験	森園

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
 復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「Microsoft Office2019を使った情報リテラシーの基礎」(近代科学者)

【参考書名】 配布資料

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 医療英語(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 重久 睦

通年4単位

【授業概要】 テキスト・参考図書等を基礎として、英語に親しみ理解を深める。

【到達目標】 テキスト・参考資料等を基礎として、英語が理解できるようにする。
医療現場で使用する英語の理解と読解および実践的英語の基本を身につける。積極的な取組を期待する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	body parts & organs	重久
2	body parts	重久
3	bones muscles, nerves	重久
4	other body parts	重久
5	other body parts	重久
6	diseases	重久
7	diseases	重久
8	diseases	重久
9	symptoms	重久
10	symptoms	重久
11	symptoms	重久
12	symptoms & conditions	重久
13	conditions	重久
14	conditions	重久
15	conditions & injuries	重久
16	定期試験	重久

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等に目を通す。

復習:授業内容を整理し、理解する。

【教科書名】 「音声と例文でおぼえる医療英単語1000」(南雲堂)

【参考書名】 「基礎からの英語入門(改訂新版)」(南雲堂) 「鍼灸師・柔道整復師のための医学英語」(医道の日本社)

【評価基準】 定期試験90%

授業態度10%(積極性、私語や居眠りなく授業に参加、教科書や配布資料等の忘れ物をしない)

科目名: 医療英語(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 重久 睦

【授業概要】 テキスト・参考図書等を基礎として、医学に関する英語に親しみ理解を深める。

【到達目標】 テキスト・参考図書等を基礎として、カルテで使用される医学英単語が理解できるようにする。
医療現場で使用する英語の理解と読解および実践的英語の基本を身につける。積極的な取組を期待する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	injuries	重久
2	injuries	重久
3	injuries	重久
4	disorders	重久
5	treatments	重久
6	treatments	重久
7	bodily functions	重久
8	bodily functions	重久
9	chemistry & nutrition	重久
10	chemistry & nutrition	重久
11	drugs	重久
12	hospital departments	重久
13	hospital exams	重久
14	hospital anesthesia & prevention	重久
15	hospital research	重久
16	定期試験	重久

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等に目を通す。

復習:授業内容を整理し、理解する。

【教科書名】 「音声と例文でおぼえる医療英単語1000」(南雲堂)

【参考書名】 「基礎からの英語入門(改訂新版)」(南雲堂) 「鍼灸師・柔道整復師のための医学英語」(医道の日本社)

【評価基準】 定期試験90%

授業態度10%(積極性、私語や居眠りなく授業に参加、教科書や配布資料等の忘れ物をしない)

科目名: 保健体育(前期)

授業形態: 講義・実習

担当教員: 岩元 泰佐

通年2単位

【授業概要】 複数のスポーツ種目で、ルールや特性を理解する。基本的なテクニックを習得し、主にゲーム中心の活動を行う。座学は保健・医療に関連したテーマを設定し、講義形式で行う。

【到達目標】 運動・スポーツに親しみを持ち、身体を動かす楽しみを学び積極的かつ協調性をもって活動する。保健・医療に対する幅広い知見を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション・レク活動	岩元
2	バレーボール&バドミントン①	岩元
3	バレーボール&バドミントン②	岩元
4	バレーボール&バドミントン③	岩元
5	バレーボール&バドミントン④	岩元
6	バレーボール&バドミントン⑤	岩元
7	座学	岩元
8	バレーボール&バドミントン①	岩元
9	バレーボール&バドミントン②	岩元
10	バレーボール&バドミントン③	岩元
11	バレーボール&バドミントン④	岩元
12	バレーボール&バドミントン⑤	岩元
13	バレーボール&バドミントン⑥	岩元
14	バレーボール&バドミントン⑦	岩元
15	座学	岩元

【授業外学修】 予習:感染症対策・体調をしっかり整え、授業に臨むこと
復習:感染症対策を確実にに行い、健康管理に留意する

【教科書名】 特になし

【参考書名】

【評価基準】 授業態度80%(競技への意欲・関心40%、競技への積極的な参加40%)、協調性10%(準備・片づけなど)、小テスト10%

科目名: 保健体育(後期)

授業形態: 講義・実習

担当教員: 岩元 泰佐

【授業概要】 複数のスポーツ種目で、ルールや特性を理解する。基本的なテクニックを習得し、主にゲーム中心の活動を行う。座学は保健・医療に関連したテーマを設定し、講義形式で行う。

【到達目標】 運動・スポーツに親しみを持ち、身体を動かす楽しみを学び積極的かつ協調性をもって活動する。保健・医療に対する幅広い知見を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション・レク活動	岩元
2	バスケットボール&フットサル①	岩元
3	バスケットボール&フットサル②	岩元
4	バスケットボール&フットサル③	岩元
5	バスケットボール&フットサル④	岩元
6	バスケットボール&フットサル⑤	岩元
7	バスケットボール&フットサル⑥	岩元
8	バスケットボール&フットサル⑦	岩元
9	バスケットボール&フットサル⑧	岩元
10	バスケットボール&フットサル⑨	岩元
11	バスケットボール&フットサル⑩	岩元
12	バスケットボール&フットサル⑪	岩元
13	バスケットボール&フットサル⑫	岩元
14	バスケットボール&フットサル⑬	岩元
15	座学	岩元

【授業外学修】 予習:感染症対策・体調をしっかり整え、授業に臨むこと
復習:感染症対策を確実にに行い、健康管理に留意する

【教科書名】 特になし

【参考書名】

【評価基準】 授業態度80%(競技への意欲・関心40%、競技への積極的な参加40%)、協調性10%(準備・片づけなど)、小テスト10%

科目名: 経営学概論(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 下豊留 佳奈

通年4単位

【授業概要】 企業が活躍していく上で必要とされる役割や、継続的に事業を遂行するためのマネジメントについて概要を学び、経営学の基礎的な知識を習得する。
また、経営者になるための心構えについて理解を深める。

【到達目標】 経営者になると仮定した際に、どのような経営をしたいか具体的にイメージできるようになる。
社会人になる上で大切な幅広い一般教養を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	経営学とは何か	下豊留
2	組織とは	下豊留
3	屋号・名刺づくり演習	下豊留
4	鹿児島県について	下豊留
5	人脈づくり	下豊留
6	人的資源管理	下豊留
7	経営理念	下豊留
8	経営戦略	下豊留
9	防災演習(災害の歴史と災害シミュレーション)	下豊留
10	生産管理	下豊留
11	接遇演習	下豊留
12	マーケティング(1) マーケティング・ミックス	下豊留
13	マーケティング(2) サービス・マーケティング	下豊留
14	広報演習	下豊留
15	医療の歴史	下豊留
16	定期試験	下豊留

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書のページに目を通しておくこと。

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】 「プレステップ経営学」(弘文堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 経営学概論(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 下豊留 佳奈

【授業概要】 企業が活躍していく上で必要とされる役割や、継続的に事業を遂行するためのマネジメントについて概要を学び、経営学の基礎的な知識を習得する。
また、経営者になるための心構えについて理解を深める。

【到達目標】 経営者になると仮定した際に、どのような経営をしたいか具体的にイメージできるようになる。
社会人になる上で大切な幅広い一般教養を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	九州について	下豊留
2	営業と意思決定	下豊留
3	営業について	下豊留
4	意思決定について	下豊留
5	男女共同参画	下豊留
6	サプライチェーンマネジメント	下豊留
7	防災演習(事業継続計画と職場備蓄)	下豊留
8	BCP策定について	下豊留
9	社交業務	下豊留
10	経営情報	下豊留
11	個人のあり方(1) 人生100年時代	下豊留
12	個人のあり方(2) セルフプロデュース	下豊留
13	企業のあり方(1) 持続可能な開発目標と社会的責任	下豊留
14	企業のあり方(2) ESG経営と働き方改革、論語と算盤	下豊留
15	人生設計	下豊留
16	定期試験	下豊留

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書のページに目を通しておくこと。

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】 「プレステップ経営学」(弘文堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 人体の形態と構造を学び、健康と病気の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。
人体の基本単位である細胞および組織の形状・名称・機能を学び、全身の骨および筋の形状・名称や機能を学ぶ。

【到達目標】 細胞および組織の形状・名称・機能の理解と全身の骨および筋の形状・名称・機能の理解。
骨学の講義において、自分にあった学習方法および効率的な学習方法を見つける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	解剖学概要説明、細胞、組織学	大竹
2	細胞、組織学	大竹
3	細胞、組織学	大竹
4	組織学、解剖学的身体指標	大竹
5	骨学概論	大竹
6	骨学:体幹部(頸椎、胸椎、腰椎、仙骨)	大竹
7	骨学:体幹部(胸骨、肋骨)	大竹
8	骨学:上肢部(肩甲骨、鎖骨)	大竹
9	骨学:上肢部(上腕骨、橈骨、尺骨)	大竹
10	骨学:上肢部(手根骨、指骨)	大竹
11	骨学:下肢部(寛骨)	大竹
12	骨学:下肢部(大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨)	大竹
13	骨学:下肢部(足根骨、趾骨)	大竹
14	骨学:頭部(頭蓋骨)	大竹
15	骨学:頭部(頭蓋骨)	大竹
16	関節学概論	大竹
17	中間試験	大竹
18	筋学概論	大竹
19	筋学:上肢部(上肢帯周囲)	大竹
20	筋学:上肢部(上腕部)	大竹
21	筋学:上肢部(前腕部)	大竹
22	筋学:上肢部(手部)	大竹
23	筋学:下肢部(下肢帯周囲)	大竹
24	筋学:下肢部(大腿部)	大竹
25	筋学:下肢部(下腿部)	大竹
26	筋学:下肢部(足部)	大竹
27	筋学:体幹部(背部)	大竹
28	筋学:体幹部(胸部・腹部)	大竹
29	筋学:頭頸部(顔面部・後頸部)	大竹
30	筋学:頭頸部(前頸部)	大竹
31	筋学総括	大竹
32	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版) 「からだの地図帳 解剖学用語」(講談社)

【参考図書】 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

科目名: 解剖学 I (後期)

授業形態: 講義

担当教員: 大竹 秀信

【授業概要】 人体の形態と構造を学び、健康と病気の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。
神経・感覚器系および循環器・内分泌系の組織学および肉眼解剖学レベルでの構造・名称・機能を学ぶ。

【到達目標】 神経・感覚器系における主要部位の名称・構造の理解と刺激を伝える各伝導路のイメージを深める。
循環器・内分泌系における主要部位の名称・構造の理解と血管の走行や内分泌系の仕組みの理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	神経系概論	大竹
2	神経系の構造、中枢神経系(脊髄、延髄、橋、中脳)	大竹
3	中枢神経系(橋、中脳、小脳)	大竹
4	中枢神経系(間脳、大脳)	大竹
5	中枢神経系(大脳、脳室系)	大竹
6	中枢神経系(髄膜、髄液、脳血管)	大竹
7	伝導路	大竹
8	末梢神経系(脳神経)	大竹
9	末梢神経系(脳神経)	大竹
10	末梢神経系(脊髄神経)上肢	大竹
11	末梢神経系(脊髄神経)下肢	大竹
12	末梢神経系(自律神経系)	大竹
13	視覚器	大竹
14	平衡聴覚器	大竹
15	味覚器、嗅覚器	大竹
16	中間試験	大竹
17	循環器概論	大竹
18	循環器(心臓)心臓の構造	大竹
19	循環器(心臓)心臓の構造	大竹
20	循環器(動脈系)体幹部の動脈	大竹
21	循環器(動脈系)上肢の動脈	大竹
22	循環器(動脈系)下肢の動脈	大竹
23	循環器(動脈系)頭頸部の動脈	大竹
24	循環器(静脈系)伴行静脈を除く全身の静脈	大竹
25	循環器(静脈系)門脈	大竹
26	循環器(胎児循環)	大竹
27	循環器総括	大竹
28	内分泌器(視床下部-下垂体系)	大竹
29	内分泌器(その他の内分泌器)	大竹
30	内分泌器(その他の内分泌器)	大竹
31	内分泌器総括	大竹
32	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版) 「からだの地図帳 解剖学用語」(講談社)

【参考図書】 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【授業概要】 疾病の構造をよく理解するために、生体の生理機能を学習する。

【到達目標】 生体の機能を学習・理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	生理学の基礎①(体液の組成と機能、ホメオスタシス)	益山
2	生理学の基礎②(物質移動)	益山
3	生理学の基礎③(細胞の構造と機能)	益山
4	生理学の基礎④(物質代謝)	益山
5	血液①(血液の組成と機能、血漿、赤血球)	益山
6	血液②(赤血球の新生と破壊)	益山
7	血液③(白血球、免疫のメカニズム)	益山
8	血液④(血小板、血液型)	益山
9	循環①(心臓の構造、心電図)	益山
10	循環②(心周期、血管系の構造と機能)	益山
11	循環③(循環の調節、リンパ系の構造と機能)	益山
12	呼吸①(呼吸器系の構造と機能、呼吸のメカニズム)	益山
13	呼吸②(肺機能、ガス運搬とガス交換)	益山
14	呼吸③(呼吸の調節、呼吸の異常)	益山
15	復習①(生理学の基礎、血液、循環、呼吸)	益山
16	中間試験	益山
17	消化と吸収①(消化器系の構造と機能)	益山
18	消化と吸収②(消化管の運動)	益山
19	消化と吸収③(口腔・胃・小腸・大腸の消化)	益山
20	消化と吸収④(消化管の吸収、消化管ホルモン、摂食の調節)	益山
21	栄養と代謝①(五大栄養素の働き)	益山
22	栄養と代謝②(栄養素とエネルギー代謝)	益山
23	体温①(体熱の産生と放散の仕組み)	益山
24	体温②(体温の調節、体温の異常)	益山
25	内分泌①(内分泌の特徴と性質)	益山
26	内分泌②(視床下部と下垂体の構造とホルモン)	益山
27	内分泌③(甲状腺と副甲状腺、膵臓)	益山
28	内分泌④(副腎皮質と副腎髄質)	益山
29	内分泌⑤(精巣と卵巣、その他のホルモン)	益山
30	復習①(消化と吸収、栄養と代謝)	益山
31	復習②(体温、内分泌)	益山
32	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「生理学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 疾病の構造をよく理解するために、生体の生理機能を学習する。

【到達目標】 生体の機能を学習・理解する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	排泄①(腎臓の構造と機能)	益山
2	排泄②(尿の生成)	益山
3	排泄③(蓄尿と排尿のメカニズム)	益山
4	生殖、成長と老化①(生殖)	益山
5	生殖、成長と老化②(生殖、性周期)	益山
6	生殖、成長と老化③(成長と老化)	益山
7	神経①(神経系の分類、ニューロンの構造と働き)	益山
8	神経②(静止電位、活動電位、活動電位の発生機序)	益山
9	神経③(伝導の特徴、神経線維の分類)	益山
10	神経④(シナプスの構造と機能、伝達の特徴)	益山
11	神経⑤(末梢神経と中枢神経の神経伝達物質)	益山
12	神経⑥(中枢神経の分類と機能: 大脳皮質、大脳辺縁系、大脳基底核)	益山
13	神経⑦(中枢神経の分類と機能: 小脳、間脳、脳幹、脳波)	益山
14	復習①(排泄、生殖、成長と老化)	益山
15	復習②(神経)	益山
16	中間試験	益山
17	神経⑧(脳脊髄液、脊髄)	益山
18	神経⑨(脊髄)	益山
19	神経⑩(脳神経と脊髄神経)	益山
20	神経⑪(自律神経系)	益山
21	筋①(骨格筋の構造と働き、収縮の仕組み)	益山
22	筋②(筋のエネルギー供給の仕組み、心筋と平滑筋)	益山
23	運動①(骨格筋の神経支配、筋紡錘と腱紡錘)	益山
24	運動②(脊髄レベルでの運動調節)	益山
25	運動③(脳幹による運動調節)	益山
26	運動④(大脳皮質による運動調節、錐体路と錐体外路)	益山
27	感覚①(感覚の一般、体性感覚)	益山
28	感覚②(体性感覚の伝導路)	益山
29	感覚③(特殊感覚)	益山
30	復習①(神経、筋)	益山
31	復習②(運動、感覚)	益山
32	定期試験	益山

【授業外学修】 予習: 講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習: 授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「生理学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 西洋医学の基本的診察法とその病態の疾患を学ぶ。

【到達目標】 西洋医学的な知識を勉強し、他の医療者との意思疎通が図れるようになる。
鍼灸治療の適応・不適応を判断できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	診察の概要（診察の一般的心得と医療面接）	崎野
2	診察の方法（医療面接の構成）	崎野
3	診察の方法（身体診察法）	崎野
4	生命徴候（バイタルサイン）の診察（体温・脈拍）	崎野
5	生命徴候（バイタルサイン）の診察（血圧・呼吸）	崎野
6	局所の診察（頸・胸・乳房・肺・心臓）	崎野
7	局所の診察（頭部・顔面・眼）	崎野
8	局所の診察（鼻・耳・口腔）	崎野
9	局所の診察（腹部・背部）	崎野
10	全身の診察（皮膚・粘膜・皮下組織）	崎野
11	全身の診察（爪・リンパ節・その他）	崎野
12	全身の診察（顔貌・精神状態）	崎野
13	全身の診察（言語・身体計測）	崎野
14	全身の診察（体格・栄養状態）	崎野
15	全身の診察（姿勢・歩行）	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「臨床医学総論」「整形外科テストポケットマニュアル 臨床で使える徒手の検査法86」（医歯薬出版）

【参考書名】

【評価基準】

定期試験100%

【実務経験】

はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 衛生学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 原 奈摘美

通年2単位

【授業概要】 衛生学の基本的な知識を身に付け、自身に対してだけではなく社会的活動にも活かせるように学習する。

【到達目標】 健康と疾病予防について理解し、ヘルスプロモーションについて高い意識を持てるようにする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション(衛生学・公衆衛生学とは何か)	原
2	健康と疾病について考える	原
3	健康管理	原
4	健康と衛生行政、医療行政	原
5	健康とライフスタイル(食品と栄養、疾病)	原
6	健康とライフスタイル(食中毒)	原
7	健康とライフスタイル(運動と健康)	原
8	環境と健康(環境要因、物理的要因)	原
9	環境と健康(化学的環境要因)	原
10	環境と健康(生物学的環境要因)	原
11	環境問題(公害)	原
12	環境問題(地球規模の環境問題)	原
13	産業保健(労働と健康)	原
14	産業保健(労災と対策)	原
15	学習のまとめ	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「衛生学・公衆衛生学」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 衛生学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 原 奈摘美

【授業概要】 衛生学の基本的な知識を身に付け、自身に対してだけではなく社会的活動にも活かせるように学習する。

【到達目標】 健康と疾病予防について理解し、ヘルスプロモーションについて高い意識を持てるようにする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	精神保健(精神の健康、精神障害の疾患)	原
2	精神保健(医療との関わり)	原
3	母子保健	原
4	学校保健	原
5	学校保健	原
6	成人・高齢者保健(生活習慣病とその対策)	原
7	成人・高齢者保健(医療・福祉対策)	原
8	感染症(分類)	原
9	感染症(種類と疾患)	原
10	感染症(予防と免疫)	原
11	消毒法(定義・種類)	原
12	消毒法(消毒の実際)	原
13	疫学	原
14	保健統計	原
15	学習のまとめ	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「衛生学・公衆衛生学」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 鍼灸施術の意義や理論を通して、医療従事者としての心構えや鍼灸の基礎知識を習得する。

【到達目標】 鍼灸の基礎知識と施術におけるリスク及びその対策について理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション、鍼灸治療の定義・特徴	住吉
2	鍼の基礎知識	住吉
3	刺鍼の方式と術式	住吉
4	特殊鍼法(小児鍼、皮内鍼法、円皮鍼法)	住吉
5	特殊鍼法(灸頭鍼法、低周波鍼通電療法、その他の療法)	住吉
6	灸の基礎知識	住吉
7	灸術の種類	住吉
8	リスク管理(安全対策の基本①)	住吉
9	リスク管理(安全対策の基本②)	住吉
10	リスク管理(感染対策①)	住吉
11	リスク管理(感染対策②)	住吉
12	リスク管理(鍼施術の有害事象)	住吉
13	リスク管理(鍼施術の有害事象)	住吉
14	リスク管理(灸施術の有害事象)	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう理論」(医道の日本社) 「鍼灸安全ガイドライン」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 東洋医学概論(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 小濱 公次

通年4単位

【授業概要】 人の身体を「総合的に診断し、治療を行う」といわれる東洋医学の概念や理論・治療法を理解し、臨床で活かせる知識を学ぶ。

【到達目標】 東洋医学の特徴である「人の全体を診る」ということを理解し、治療が行える考え方を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション	小濱
2	東洋医学の沿革・東洋医学的治療	小濱
3	日本の東洋医学の現状	小濱
4	陰陽学説	小濱
5	五行学説①	小濱
6	五行学説②	小濱
7	生植物質(精・気)	小濱
8	生植物質(気)	小濱
9	生植物質(血)	小濱
10	生植物質(津液)	小濱
11	神	小濱
12	陰陽の病理	小濱
13	蔵象(肝・胆)	小濱
14	蔵象(心・心包・小腸・三焦)	小濱
15	蔵象(脾・胃)	小濱
16	蔵象(肺・大腸)	小濱
17	蔵象(腎・膀胱)	小濱
18	蔵象のまとめ	小濱
19	中間試験	小濱
20	生植物質の病証	小濱
21	肝・心・脾の病証	小濱
22	脾・肺・腎の病証	小濱
23	臓腑の相互関係・関連領域	小濱
24	病証のまとめ	小濱
25	経絡の構成	小濱
26	十二経脈病証	小濱
27	病因(外傷病)	小濱
28	病因(内傷病)	小濱
29	病機(五臓の病変)	小濱
30	確認問題	小濱
31	総括	小濱
32	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学概論」(医道の日本社)

【参考図書】 「針灸学[基礎編]」(東洋学術出版社) 「日本鍼灸医学(経絡治療・基礎編)(経絡治療・臨床編)」(経絡治療学会)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 東洋医学概論(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次

【授業概要】 人の身体を「総合的に診断し、治療を行う」といわれる東洋医学の概念や理論・治療法を理解し、臨床で活かせる知識を学ぶ。

【到達目標】 東洋医学の特徴である「人の全体を診る」ということを理解し、治療が行える考え方を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	復習	小濱
2	望診(顔・態)	小濱
3	望診(舌)	小濱
4	聞診	小濱
5	問診(主訴)	小濱
6	問診(基本的な問診事項:寒熱)	小濱
7	問診(基本的な問診事項:飲食)	小濱
8	問診(その他の問診事項)	小濱
9	問診(汗)	小濱
10	問診(疼痛)	小濱
11	問診(女性)	小濱
12	切診(腹診)	小濱
13	切診(切経・経穴診)	小濱
14	切診(脈診)	小濱
15	切診(比較脈診)	小濱
16	中間試験	小濱
17	弁証(八綱弁証)	小濱
18	弁証(気血津液弁証)	小濱
19	弁証(臓腑弁証)	小濱
20	弁証(その他の弁証)	小濱
21	標本と主客・論治	小濱
22	治法(治法八法・生植物質の病証に対する治法)	小濱
23	治法(臓腑の病証に対する治法)	小濱
24	治法(その他の治法)	小濱
25	補瀉法	小濱
26	古代九鍼	小濱
27	刺法①	小濱
28	刺法②	小濱
29	四診～刺法(実技練習)①	小濱
30	四診～刺法(実技練習)②	小濱
31	総括	小濱
32	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学概論」(医道の日本社)

【参考図書】 「針灸学[基礎編]」(東洋学術出版社) 「日本鍼灸医学(経絡治療・基礎編)(経絡治療・臨床編)」(経絡治療学会)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 経絡経穴概論Ⅰ(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 各経脈の走行や経穴の部位及び特性について学習する。

【到達目標】 各経脈の走行を把握し、十四経脈の経穴及び要穴を覚える。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション、経絡・経穴の基礎(経絡・経穴の誕生)	住吉
2	経絡・経穴の基礎(経絡の概要①)	住吉
3	経絡・経穴の基礎(経絡の概要②)	住吉
4	経絡・経穴の基礎(体表指標・骨度法)	住吉
5	経絡・経穴の基礎(経穴の概要①)	住吉
6	経絡・経穴の基礎(経穴の概要②)	住吉
7	督脈	住吉
8	任脈	住吉
9	手の太陰肺経	住吉
10	手の陽明大腸経	住吉
11	足の陽明胃経(頭頸部、胸腹部)	住吉
12	足の陽明胃経(下肢部)	住吉
13	足の太陰脾経(下肢部)	住吉
14	足の太陰脾経(胸腹部)	住吉
15	手の少陰心経	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考書名】 「新版 東洋医学概論」(医道の日本社) 「針灸学[経穴篇]」「針灸経穴辞典」(東洋学術出版社)

【評価基準】 定期試験(100%)×課題提出状況(60~100%)

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 経絡経穴概論Ⅰ(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 住吉 光輝

【授業概要】 各経脈の走行や経穴の部位及び特性について学習する。

【到達目標】 各経脈の走行を把握し、十四経脈の経穴及び要穴を覚える。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	手の太陽小腸経(上肢部)	住吉
2	手の太陽小腸経(肩背部、頭頸部)	住吉
3	足の太陽膀胱経(頭頸部)	住吉
4	足の太陽膀胱経(背腰部、殿部)	住吉
5	足の太陽膀胱経(下肢部)	住吉
6	足の少陰腎経(下肢部)	住吉
7	足の少陰腎経(胸腹部)	住吉
8	手の厥陰心包経	住吉
9	手の少陽三焦経(上肢部)	住吉
10	手の少陽三焦経(頭頸部)	住吉
11	足の少陽胆経(頭頸部)	住吉
12	足の少陽胆経(胸腹部、殿部、下肢部)	住吉
13	足の厥陰肝経	住吉
14	奇経八脈	住吉
15	奇穴	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考書名】 「新版 東洋医学概論」(医道の日本社) 「針灸学[経穴篇]」「針灸経穴辞典」(東洋学術出版社)

【評価基準】 定期試験(100%)×課題提出状況(60~100%)

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 基礎はり実技(前期)

授業形態: 実習

担当教員: 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 健康の回復や維持・向上に貢献できる医療従事者になることを目的として、鍼施術の基本技法を習得する。

【到達目標】 鍼の基本的な手技を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション、施術上の注意、施術用具の取扱い	住吉
2	感染防止対策、鍼の基本手技(管鍼法)	住吉
3	鍼灸治療の過誤と副作用、鍼の基本手技(送り込み刺法)	住吉
4	鍼の基本手技(送り込み刺法、刺鍼中の手技)	住吉
5	身体各部の刺鍼 大腿部	住吉
6	鍼の基本手技(旋撚刺法)	住吉
7	身体各部の刺鍼 下腿部①	住吉
8	身体各部の刺鍼 下腿部②	住吉
9	身体各部の刺鍼 前腕部①	住吉
10	身体各部の刺鍼 前腕部②	住吉
11	身体各部の刺鍼 腰部①	住吉
12	身体各部の刺鍼 腰部②	住吉
13	身体各部の刺鍼 腹部①	住吉
14	身体各部の刺鍼 腹部②	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社) 「鍼灸医療安全ガイドライン」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 基礎はり実技(後期)

授業形態: 実習

担当教員: 住吉 光輝

【授業概要】 健康の回復や維持・向上に貢献できる医療従事者になることを目的として、鍼施術の基本技法を習得する。

【到達目標】 鍼の基本的な手技を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	刺鍼中の手技及び基本手技の確認	住吉
2	身体各部の刺鍼 上背部・肩背部①	住吉
3	身体各部の刺鍼 上背部・肩背部②	住吉
4	身体各部の刺鍼 上背部・肩背部③	住吉
5	身体各部の刺鍼 頸部①	住吉
6	身体各部の刺鍼 頸部②	住吉
7	身体各部の刺鍼 肩上部①	住吉
8	身体各部の刺鍼 肩上部②	住吉
9	身体各部の刺鍼 頭部①	住吉
10	身体各部の刺鍼 頭部②	住吉
11	身体各部の刺鍼 顔面部①	住吉
12	身体各部の刺鍼 顔面部②	住吉
13	身体各部の刺鍼 手部・足部①	住吉
14	身体各部の刺鍼 手部・足部②	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社) 「鍼灸医療安全ガイドライン」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 基礎きゅう実技(前期)

授業形態: 実習

担当教員: 原 奈摘美

通年2単位

【授業概要】 灸施術の基礎となる技術を学習する。

【到達目標】 基礎的な技術や考え方を把握し、応用できる力を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	灸の基礎知識、注意事項について	原
2	灸の基本手技(艾炷灸)について (実技) 艾炷作り	原
3	灸の基本手技(艾炷灸)について (実技) 艾炷作り	原
4	灸の基本手技(艾炷灸)について (実技) 艾炷の設置と着火	原
5	灸の基本手技(艾炷灸)について (実技) 艾炷の設置と着火	原
6	有痕灸について (実技) 施灸の練習	原
7	有痕灸(透熱灸) (実技) 施灸の練習	原
8	有痕灸(透熱灸) (実技) 施灸の練習	原
9	有痕灸(透熱灸) (実技) 施灸の練習 下腿部	原
10	有痕灸(透熱灸) (実技) 施灸の練習 足部	原
11	無痕灸について (実技) 施灸の練習	原
12	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習	原
13	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 前腕部	原
14	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 下腿部	原
15	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 足部	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「鍼灸医療安全ガイドライン」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 基礎きゅう実技(後期)

授業形態: 実習

担当教員: 原 奈摘美

【授業概要】 灸施術の基礎となる技術を学習する。

【到達目標】 基礎的な技術や考え方を把握し、応用できる力を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	有痕灸(透熱灸)及び無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習	原
2	有痕灸(透熱灸)及び無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 腰背部・足部	原
3	無痕灸(温筒灸、台座灸) (実技) 施灸の練習 上下肢部	原
4	無痕灸(棒灸) (実技) 施灸の練習 腰背部、下腿部	原
5	無痕灸(隔物灸①) (実技) 施灸の練習 塩灸、びわ葉灸	原
6	無痕灸(隔物灸②) (実技) 施灸の練習 生姜灸	原
7	無痕灸(特殊灸法①) (実技) 施灸の練習 温圧灸	原
8	無痕灸(特殊灸法②) (実技) 施灸の練習 灸頭鍼、無煙灸	原
9	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 足部	原
10	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 下腿部	原
11	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 前腕部	原
12	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 胃の六つ灸	原
13	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 胃の六つ灸	原
14	無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 腰部俞穴	原
15	有痕灸(透熱灸)及び無痕灸(知熱灸) (実技) 施灸の練習 腰背部・足部	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「鍼灸医療安全ガイドライン」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: アロマセラピー概論・実技(前期) 授業形態: 講義・実習 担当教員: 原 奈摘美・住吉 光輝
 *この科目は「はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則」外の科目です 2単位

【授業概要】 植物の香りが心や体に及ぼす作用を学び、香りに親しみ、楽しみながら、より豊かなライフスタイルを提案・実現できるセラピストを目指す。

【到達目標】 植物の香りが心や体に及ぼす作用を理解する。
 JAAアロマコーディネーター資格を取得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	アロマセラピー概要 精油使用上の知識	実技:クラフト作成 原・住吉
2	精油の抽出方法 抽出部位	実技:クラフト作成 原・住吉
3	キャリアオイルの役割と条件 キャリアオイルの種類	実技:クラフト作成 原・住吉
4	ブレンドの比率と香りの相性	実技:クラフト作成 原・住吉
5	人間の脳と嗅覚	実技:クラフト作成 原・住吉
6	フェイストリートメント(表情筋とトリートメント方法)	実技:クラフト作成 原・住吉
7	香りの歴史	実技:クラフト作成 原・住吉
8	精油の安全性	実技:クラフト作成 原・住吉
9	精油の作用	実技:クラフト作成 原・住吉
10	ボディトリートメント(循環器・リンパ系・精油の代謝と排出)	実技:クラフト作成 原・住吉
11	香りの心理	実技:クラフト作成 原・住吉
12	フレグランスの知識	実技:クラフト作成 原・住吉
13	精油に含まれる成分	実技:クラフト作成 原・住吉
14	精油の禁忌を示す成分	実技:クラフト作成 原・住吉
15	アロマセラピーに関する法律	実技:クラフト作成 原・住吉
16	学習のまとめ	原・住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「予防医学とセルフメディケーション編テキスト」「学生用レッスンテキスト」「精油テキスト」(JAA日本アロマコーディネーター協会)

【参考図書】

【評価基準】 授業態度100%(授業への積極的な参加)

【実務経験】 JAA認定インストラクター、はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: メディカルトレーナー概論・実技(前期) 授業形態: 講義・実習 担当教員: 小濱 公次・崎野 雄樹・中村 大隆
 *この科目は「はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則」外の科目です 2単位

【授業概要】 トレーナーとして必要な技術を学び修得する。

【到達目標】 トレーナーとして活動する上で、現場で対応できる手技・トレーニングスキルを身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	トレーニング理論①	崎野
2	トレーニング理論②	崎野
3	スポーツマッサージ①	小濱
4	スポーツマッサージ②	小濱
5	スポーツマッサージ③	小濱
6	スポーツマッサージ④	小濱
7	スポーツマッサージ⑤	小濱
8	スポーツマッサージ⑥	小濱
9	スポーツマッサージ⑦	小濱
10	スポーツマッサージ⑧	小濱
11	テーピング理論①	中村
12	テーピング理論②	中村
13	テーピング理論③	中村
14	テーピング理論④	中村
15	テーピング理論⑤	中村
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

配布資料 「JSSR認定トレーナーテキスト」(医学映像教育センター)

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】 授業態度80%(授業への積極的な参加)、定期試験20%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加(小濱)

はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加(崎野)